

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	全学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18047	1	前期	必修	1	15
授業科目名 (英文)	キャリア教育 I (Career Education I)				
担当教員名	○津村 宏／福島 延久／久保田 さゆり／横山 美樹／島田 多佳子 廣島 麻揚／秋山 美紀／阿達 瞳／小西 敏郎／森本 修三 神田 裕子／大道 公秀／今泉 一哉／瀬戸 僚馬／小杉 尚子 柴野 莊一／大野 博之／岩上 優美				
授業の概要及び到達目標					
○授業概要 本科目の目的は、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を学習するために、入学時から将来の職業選択に関わって職業観の形成や生き方そのものについて、計画的に考えていくことを基本とし、幅広い職業意識の形成等を図ることである。学生時代を有意義に過ごすための基本的な考え方や知識を得るとともに、社会で長期的に成長するための素地となる能力を身に付ける。また、これらの応用として、グループディスカッションを通じて人の話を聞き、自己の意見を述べ、議論する能力を養えるようにする。					
○到達目標 ①基本的な読解力、書く力、計算力を身に付ける。 ②看護学科、医療栄養学科、医療情報学科の専門性を知り、チーム医療ができる専門職を目指す上で、互いの専門性を知ることの大切さについて、意見を述べる。					
準備学習等					
○第1～6回は、入学ガイダンス期間であるために準備学習は不要とするが、復習を行うこと。 ○第1～4回授業：国語力は復習として新聞やTVニュースなどを見て力を付けるよう日々努力すること。計算力は、授業で取りあげた内容を高校教科書等で理解できるまで復習しておくこと。 ○第5～6回授業：他学科の学生が卒業時取得できる資格について調べて、他学科の専門性について復習しておくこと。 ○第7～8回演習：事前学習として履修案内を活用し、自身の学科で学習する内容や将来の職業をイメージしておくこと（事前学習2時間）。授業後に事前イメージとの差分について復習すること。					
成績評価の方法	・第1～4回の国語力試験 25点満点、数学力試験 25点満点、第5～6回のレポート 30点満点、第7～8回の課題 20点満点（レポート等）で評価する。 ・国語力 13点以上、数学力 13点以上、第5～6回レポート 15点以上、第7～8回課題 10点以上の全てを満たし、かつ合計 60点以上で合格とする。 ・不合格の項目ごとに、補講、追試、再試等を実施する。				
テキスト	テキストはないが、必要に応じて、資料を配布する。				
参考図書	必要に応じて、図書を紹介する。				

備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻・欠席は、減点の対象となる。</li> <li>・私語、携帯電話操作など授業の妨げとなる行為をした場合は単位認定しない。</li> <li>・授業計画は、状況により順番を変えたり、内容を変更する場合がある。</li> <li>・質問等は授業終了後、教室で受け付ける。</li> <li>・卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図で確認すること。</li> </ul>
授 業 計 画	
<p>(各学科別にクラスを編成)</p> <p>第1回 オリエンテーション 国語力トレーニング (読解力の向上などを図る。)</p> <p>第2回 文章力トレーニング (書く力の向上などを図る。)</p> <p>第3回 計算力トレーニング① (計算力の向上などを図る。)</p> <p>第4回 計算力トレーニング② (計算力の向上などを図る。)</p> <p>※第1回～4回は定期試験を行う。日程については調整の上、別途通知する。</p> <p><b>【全学科を3クラスに編成】</b></p> <p>第5、6回 お互いの専門性を知る 三学科合同での授業により、お互いの専門性を知り、チーム医療ができる専門職を目指す基盤づくりを行う。</p> <p>○看護学科教員による授業 「ケアを通して人の健康にかかわる看護師の役割とは」 看護師の役割について基本的な考え方を紹介した後、簡単な事例を通して、看護師に求められる役割について三学科の学生と一緒に考える機会としたい。</p> <p>○医療栄養学科教員による授業 「病院の中における管理栄養士と他職種専門家とのかかわり」 臨床現場における管理栄養士の役割や仕事について、チーム医療の中での他職種（看護師、医療情報技師など）との協働体制について具体的な事例をスライドなどと共に紹介し、それぞれの学科の専門性と関係をさせながら、わかりやすく話をする。</p> <p>○医療情報学科教員による授業 「医療情報の活用による「医療の質」向上」 医療は生命や健康に直結するサービスであり、その品質を確保することは極めて重要である。他方、極めて専門性が高いため、その品質を評価することは容易とはいえない。看護師や管理栄養士、医師などが行ったことをどう可視化し、改善に活かしていくのか一緒に考えたい。</p> <p><b>【学科別にクラスを編成】</b></p> <p>第7、8回 自分自身を知る</p> <p>○看護学科 看護事例をもとに、看護職になるために必要な知識・技術・態度を考える。 考察した内容を活用し、これから学習する科目を調べ話し合い、共有する。</p> <p>○医療栄養学科 「管理栄養士を目指した大学生生活のプランニング」を考えてみよう 管理栄養士は食（栄養）を通して人間に接する職業であることを理解し、管理栄養士を目指す大学生生活を見据えた学生生活のあり方を中心に、キャリア教育担当教員による講義と、これらの講義を通して、グループワーク、プレゼンテーション等を体験しながら全員で共有をする。 (なお、班編成は3クラスをミックスしたグループとし研修当日に発表する)</p> <p>○医療情報学科 キャリアガイダンス支援プログラムの一つである「キャリアシミュレーションプログラム」を用いて、長期的な職業生活の流れを疑似体験し、その体験をグループワークの中でディスカッションしながら振り返ることで、就業イメージを理解する。そして、ディスカッションの結果をグループごとに発表し、それぞれの考え方を共有する。</p>	